

## 検討会の目的、委員名簿

### 1. 検討会の目的 (第1回検討会配付資料より抜粋)

横浜川崎区の強制水先は、その対象を平成11年に300GT以上から3,000GT以上に緩和したが、その後約15年が経過し、この間同水域は、

- ・ 入港隻数も相当程度減少し、船舶の混雑状況は緩和している可能性があること、
- ・ 国際コンテナ戦略港湾として位置付けられ、港湾整備に一定の進展があること、

等、その環境が変化している。

このため、同水域の強制水先について、操船安全面からの客観的・定量的な分析等安全性の検証を行った上で、その対象船舶のあり方を総合的に検討する。

### 2. 委員名簿

(五十音順、敬称略)

石橋 武	東京湾水先区水先人会会長
伊東 慎介	横浜市港湾局長
糸屋 雅夫	全国内航タンカー海運組合環境安全委員会委員
井上 欣三	神戸大学名誉教授
今津 隼馬	東京海洋大学名誉教授
奥谷 丈	川崎市港湾局長
◎落合 誠一	中央大学法科大学院教授
門野 英二	(一社)日本船主協会港湾委員会委員
川村 敏宗	外国船舶協会オペレーション部会副会長
小島 茂	(一社)日本船長協会会長
下沖 秋男	(公社)東京湾海難防止協会理事長
○杉山 雅洋	早稲田大学名誉教授
中条 潮	慶應義塾大学教授
根本 勝則	(一社)日本経済団体連合会産業政策本部長
福永 昭一	日本水先人会連合会会長

(国土交通省)

松原 裕	大臣官房審議官(海事)
吉永 隆博	海事局海技課長
今井 浩	海事局総務課首席海技試験官
中島 洋	港湾局計画課港湾計画審査官
伊丹 潔	海上保安庁交通部安全課長

(注) 「◎」は座長、「○」は座長代理